

# 水稲作物栽培管理情報

令和3年

大分県中部振興局

種落営農・水田畑地化 班

## 1. 令和3年産水稲

### 1) 圃場の準備 ~栽培管理のしやすい圃場づくり~

#### (1) 耕耘の注意点 ※圃場が乾いた日を逃さず作業しましょう!

- ① 耕す深さは15cmを目安として、毎年踏み固めた田面を崩す。
  - ② PTOは1~2速で、ロータリーを緩やかに回転させ土塊を大きくする。
  - ③ トラクターの走行方向に注意し、圃場に凹凸を作らないようにする。
- ・ 作土が盛り上がった所は除草剤の効きが悪くなり、雑草が残りやすくなります。  
耕耘作業時に圃場を平らにし、田植後の除草効果を高めましょう。

#### (2) 排水作業 ※水の溜まりやすい圃場限定

畦畔沿いに溝を掘る等により、圃場を乾燥させ耕起しやすい状態にする。

**ポイント** 田植直前では間に合わない作業を、前もって確実に行いましょう。

### 2) 育苗期間中の管理 ~田植後の生育は、苗の出来・不出来で決まります!~

#### (1) 温度管理 ※適温を保ち、ムレ苗・徒長苗・病気発生を防止!

##### 苗の生育に応じた適温

- ① 出芽期  
(幼芽長=出芽後の苗長が0.5~1cmの頃)

**30~32℃に保つ。**

- ② 緑化期  
(苗長が3~4cmの頃)

**22~25℃に保つ。**

※夜温が10℃以下となる場合は保温!

- ③ 硬化期  
(苗が緑色となった頃)

**基本的に屋外で、保温せず図1の状態まで育成**

※気温が12℃以下となる場合は保温!

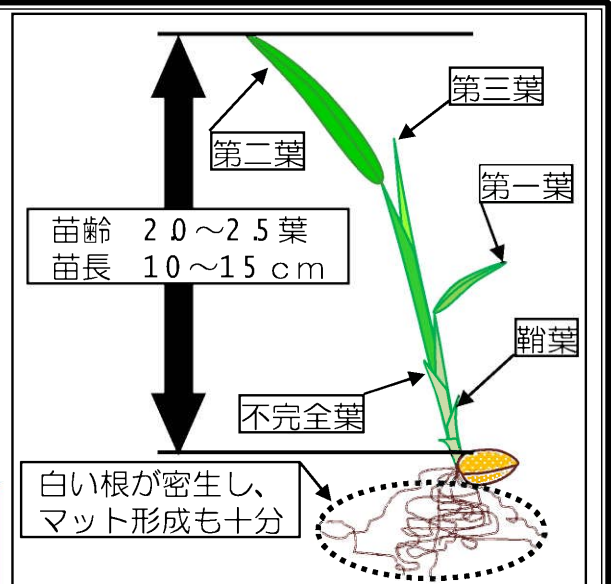


図1 適切に育成された苗

#### (2) 水管理 ※「十分な水を、必要な時間にやる」ことが基本!

- ① 灌水は日中の気温が高い時間帯 (図2 参考) に

午前1回 (午前10時頃)

午後1回 (午後2時頃)

の2回行うことが基本

※平坦地では、晴天の日には間にもう1回灌水する必要が生ずる場合があります。

- ② 夕方以降は苗が余り水分を必要とせず、苗床の湿度が高くなるので避ける。

**ポイント** 温度と水分を適切に管理し、病虫害や気象変動に強い苗を作りましょう!

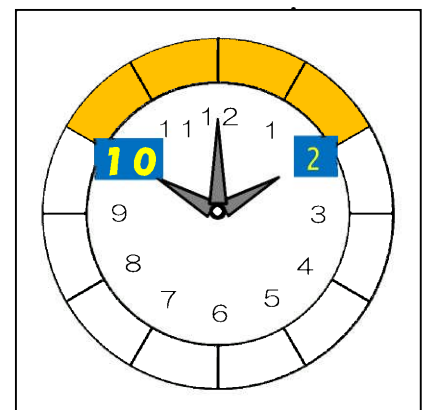


図2 灌水する時間